

田楽提灯作りのアドバイス

◆ 枠組み / 畑俊美さん

- 長時間歩くので、なるべく軽く作る
 - ろうそく立て用の釘は、スクリュー釘だとぐらぐらしないでいい
 - 普通の釘なら板をもう一枚あてて分厚くする
 - 枠の上（真ん中）の引っ張りは、すすきを提灯に飾る時、上下で2点留めするため
 - かたむけると燃えてしまうので、枠の厚みは狭くないほうがいい
- ※作れない場合は、畑さんに製作依頼もできます。

◆ 紙貼りと絵つけ / 柏倉儀一さん

- 紙は障子紙を使う
- 絵は、貼ってから描くほうが、しわがよらず、きれいに仕上がる。ただ、失敗すると貼り直しになるので描いてから貼るのも仕方ない
- 糊は枠に塗る 紙に塗らない
- 紙は、短い枠(横)に合わせてから、長い辺(縦)を合わせるようにすると真っ直ぐ貼れる
- しわがよったら、糊が乾いてから霧吹きをして乾かすとぴんと張らせることができる。ただし、絵を描いてからは色がにじむので、しないほうが良い
- 主体となる絵をどこに置くか、構図をきちんと決めてから描く
- 下書きを別の紙に十分にしてから清書する
- 色付けは、赤・黄・青のような原色で塗るほうが、ろうそくを灯した時に迫力ある色が出る



絵 / 安藤ゆふみ